

令和6年度 第3回 学校運営協議会 議事録

1 期 日：令和6年10月23日（水） 17：30～18：30

2 場 所：図書室

3 出席者：委員（校長含む）4名、事務局2名

4 会次第

(1) 開会

(2) 学校長挨拶

(3) 報告・協議事項

①学校生活の様子

②在籍生徒の状況報告

③学習支援員（ボランティア）による支援状況

④学校説明会・体験授業実施状況報告及び今後の予定

⑤令和7年度入学希望者募集要項等について

⑥今後の学校行事計画説明

(4) 諸連絡

5 議事録（○委員、●校長・事務局）

(1) 学校生活の様子

●7月楽しい学校となるためのアンケート結果報告

○カウンセリングマインドでの生徒への関わりや生徒をフォローしていく体制を整えていく必要性を感じた。

○多様な生徒が在籍しており、学習面でのばらつきもある。そのような中、丁寧な受け入れを行い、先生方の配慮が行き届いていると感じる。

○海外から日本に来て、高校に行きたいが行けない状況にある人がいる。そのような人が学ぶ場になっている。

(2) 在籍生徒の状況報告

●学校基本データからの報告

○不登校を経験して彩志学舎中学校に入学した生徒への対応として、目指すことは社会での自立である。ストレス耐性を超えない範囲で関わっていき、どれくらいできるのか見極める必要がある。アルバイトをしている生徒には、頑張っていることを褒め本人の話を聞きながら関係性を深めていくとよい。継続的に見守り、自主的な判断を尊重していくことが重要である。キャリアカウンセリングを行い、学びへの気づきに誘導していくこともできる。

(3) 学習支援員（ボランティア）による支援状況

●学習支援員数及び成果と課題について（教職員アンケート報告）

○スーパーバイザー（会計年度任用職員）の配置があると、教職員も学習支援員も相談がしやすいのではないかと。不登校を経験した生徒への関わりはこれまでの経験値の大きさが大切な要因の一つでもある。

○完全なボランティアではなく、県立学校の運営の中で予算化すべきではないかと。

○持続可能な仕組みになっていくことが重要である。

(4) 学校説明会・体験授業実施状況報告及び今後の予定

●第一回及び第二回学校説明会・体験授業実施アンケート結果報告

●今後の予定について（第3回：11月16日、第4回：12月7日）

●市町校長会及び教育委員会訪問実施状況報告

○学齢生徒は入学対象者とはならないが、中学3年生は卒業後の4月から入学ができるので、進路選択の一つになる。

●今後、本校生徒が高校へ進学すると、進学先として本校への期待感も高まってくると考えている。

(5) 令和7年度入学希望者募集要項等について

●令和7年度入学希望者募集に係る説明

○入学希望者が40人を超えた場合はどうするのか。

●施設・設備面を考慮する必要があるが、できるだけ受け入れていく方針である。

○遠方から通学する生徒もいる。今後の入学希望者の推移を見守ることになるだろう。

○今年度は体験入学を経て入学できるのがよい。

(6) 今後の学校行事計画説明

○生徒が意見を言える場があれば、主体的な動きがでてくるのではないかと。現在の学習環境の中で、どういうことができるか考えさせてみることは、生徒の自立につながるのではないかと。